

11/14

Thu

学 校 型 安曇野市立豊科東小学校

共同研究者 楠見友輔
(信州大学 講師)

対話を通して、学びを深めていく 子どもを目指して

本校では、「対話」をキーワードに日々の授業に取り組み、研究会でふり返ったり、意見交換をしたりしています。

授業動画をふり返る中で、A男の姿に目が留まりました。A男は思ったこと、言いたいことをすぐに口にしてしまう子です。そんなA男が算数の学習で問題に取り組んだとき、10分もの間、全く話さずに問題の図形を見つめ、紙の向きを変えたり計算をしたり、眉間にしわを寄せたりしながら夢中になって取り組んでいました。自分の考えたやり方がうまくいかずに悩んでいた授業終盤、教師がヒントを出そうとすると、A男は「それって答えじゃないよね？」と大きな声で聞き、なんとしても自分で解決しようとしている姿が見られました。他の児童が「そういうことか」と呟き出すと、彼もチラチラと確認していました。そして、隣のB男が「そういうことか！」と閃いたように漏らすと、A男は「やっぱりな…」と呟きました。その後A男はすぐに問題を解き、気持ちのよい表情をしました。その姿から、「やっぱりな…」のあとには「俺のやり方は違ったんだ」が続いたと思います。違っていたことでやる気をなくすのではなく、よい表情をしたのは、問題と十分に対話したことで、違いを素直に受け入れることができ、自分の力で解決できたことに満足しているのだと感じました。A男を夢中にさせた材、A男がじっくり考えるための保障、A男の個性を理解し彼に委ねた教師の意識。1人の学びには様々な背景があり、A男がA男らしく学んでいることを、彼の姿から学びました。

共同研究者に信州大学の楠見友輔先生をお迎えし、「21世紀型の教師」(教える教師から学びの専門家へ)への転換を目指したアドバイスをいただいています。当日は、それぞれの職員が「対話」をキーワードに授業を展開していきます。授業後の語る会では子どもの学びについて一緒に語りたいと考えています。



共同研究者 楠見先生から

豊科東小学校は、全校で子どもの学び合いを中心に据えた授業の実現を目指しています。取り組みは始まったばかりですが、先生方は一斉授業からの脱却を目指し、日々授業づくりや教材づくりに向き合っています。当日は参加者のみなさんと一緒に、子どもたちが対話を通してどのように学んでいるのかを考えていきたいと思っています。



～日 程～

- | | |
|--------|-------------|
| ① 受付 | 13:00～13:15 |
| ② 開会行事 | 13:20～13:30 |
| ③ 公開授業 | 13:40～14:25 |
| ④ 語る会 | 14:40～15:10 |
| ⑤ 講演 | 15:20～16:25 |
| ⑥ 閉会行事 | 16:25～16:30 |